

読んだ本

(マリア・テルリコフスカ/さく ポフダン・ブテンコ/え うちだ りさこ/やく) 福音館書店

『しずくのぼうけん』

川崎市立幸町小学校一年 大瀧 心遥

おおたき

こはる

わたしがこのほんをえらんだりゆうは、しずくがいろいろなところにぼうけんに行くのをみて、わくわくしたりどきどきしたりしてじぶんがぼうけんしているようなきもちになるからです。

ほんのなかでしずくが、くもからおちたとき「このまましんじやうのね」といっていました。でもけっきょくたすかったので、「じゃあどうやってみずはしぬんだろう」ときになりました。それでわたしは、じっけんをしてみました。

こうえんにいって、つちにみずをかけてみました。しんだようにはみえましたが、さわってみると、まだみずはいきていました。じやりにかけたときは、あきらかにみずがのこっていました。どちらもあるには、すいじょうきになって、そらにのぼっていくとおもいます。

つぎになべとふらいぼんでやいてみました。やいたときは、つちとにいて、うえにのぼっていききました。なべでにたときはふたをしてみると、みずがたくさんついていました。ふたにあなたがあいていたので、そこからなんんかがでていくのがみえました。

なにをしても、しずくはしにませんでした。が、まだなにかしにそうで、わたしはしんぱいしてます。こんどはいろいろあじのついたしずくでためしてみたいです。